

## 特別寄稿

日本スポーツ栄養研究会学術集会  
10年の歩み

日本スポーツ栄養研究会

前会長 田口 素子

現会長 鈴木 志保子

## はじめに

日本スポーツ栄養研究会は2014年1月より日本スポーツ栄養学会へと移行したため、本誌は研究会として発行する最後の巻となる。そこでこの記念すべき節目に、これまでの10年間における総会・学術集会の歩みを振り返りたいと思う。

## 【研究会設立から学会への道のり】

日本スポーツ栄養研究会は2004年10月に立ち上げ、10周年を迎える。樋口満先生(早稲田大学)や鈴木久乃先生(女子栄養大学名誉教授)をはじめ、多くの先生方のご支援をいただき、当時スポーツ栄養サポートを実施していた30代の若手管理栄養士がコアメンバーとして数名集まったのが始まりである。「スポーツ栄養」を一つの学術領域・職域として独立させ、栄養系と体育・スポーツ系の両方に広げていくことを目指して、意気揚々と「日本スポーツ栄養研究会(JSNA)」を立ち上げた。

国立スポーツ科学センター(JISS)の浅見俊夫センター長(当時)のご理解の下、理事は月1回JISSに集まり、会議室をお借りして毎月遅くまで会の運営方法や学術集会についての議論を重ねた。研究会事務局は日本女子体育大学に置き、徐々に委員会や事務局の充実も図ってきた。現在は神奈川県立保健福祉大学で事務局業務を実施しており、いずれも、学長の加賀谷淳子先生(故人)及び中村丁次先生の多大なるご支援があったればこそであり、感謝に絶えない。

さて、本研究会は2007年6月に特定非営利活動法人として東京都より認証され、正会員数も順調に増え、現在では1,100名を超えた(図1)。ますます充実した活動を展開していくために学会に移行することが今年度の総会にて承認され、2013年

12月5日に特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会として東京都の認証を受けるに至った。

## 【学術集会のあゆみ】

表1にこれまでの学術集会の開催地やテーマ等をまとめ、学術集会のポスターを掲載した。特定非営利活動法人の認証を受ける以前の2005年3月19日には、日本スポーツ栄養研究会を設立して初めての総会を国立スポーツ科学センターにて開催し、本研究会は本格始動した。2006年7月1日～2日は女子栄養大学駒込キャンパスにて総会及び学術集会を開催した(会頭：亀井明子)。この総会において、特定非営利活動法人となることについて審議され、承認された。そこで東京都の認証手続き及び登記手続きを経て、2007年以降は「特定非営利活動法人日本スポーツ栄養研究会総会・学術集会」となり、総会・学術集会も第1回としてスタートし、今年度で第7回目を数えた。

第1回は日本女子体育大学(東京都)にて開催した(会頭：田口素子)。まだ会の知名度が低かった

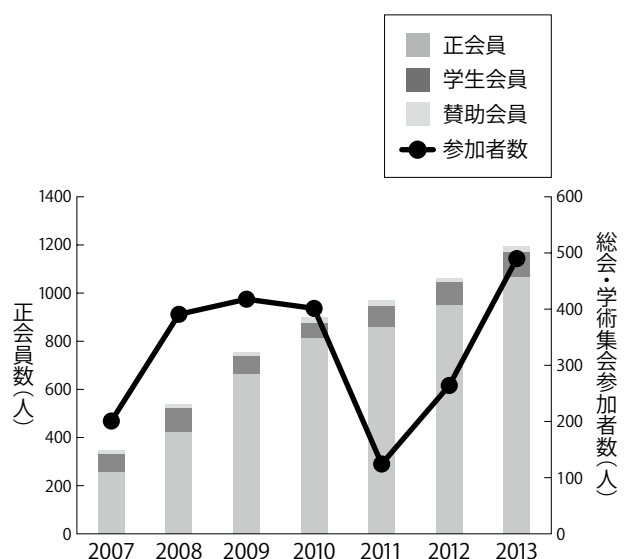


図1 本会の会員数と学術集会参加者数の推移